

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	649
事業名	バイオマス利活用施設指定管理事業	予算科目	会計 一般会計・1 款 農林水産業費・6款 項 農業費・1項 目 農業振興費・3目
担当部課名	農業振興部 農林振興課		
電話	0799 - 43 - 5025		
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	南あわじ市バイオマス利活用施設条例
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり	
	まちづくりの目標	ふやさんか 食づくりの担い手【農漁業】	
	施策目標	食づくりの源である豊穰の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託 <input type="checkbox"/> 負担金補助 <input type="checkbox"/>

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 南あわじ市バイオマス利活用施設管理組合		対象人数(人) 4,000	
	目的	意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 玉葱残渣の不適切処理防止。			
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 施設の安定稼働のため、稼働経費削減の方策検討及び試験稼働及び本格稼働。 残渣受入れ量の増加を図るため、玉葱事業者・農業者への呼びかけ。			
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 過去において玉葱残渣の処理施設がなく、不適切な処理により、悪臭や汚水による環境問題や病原菌による収穫量の減少が起きていた。 残渣の受入れ量が計画に対して著しく少なく、また処理経費が高いため安定的な稼働によりコスト低減を図る。			
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 ()			
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし				
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併前に4町で計画をたて、合併後建設事業を実施。				

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	処理量					指標単位
							t
	指標説明 (指標算出 方法等)	バイオマスフロンティア整備事業計画					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	
	実績値	974	316	750			
	達成度 (%)	44.3	14.4	34.1	-	-	
目標値設定 の考え方	残渣発生量 10.634tの内計画処理量 2200tの内訳 農業者300t JA選果場400t 民間選果場1500t						
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	0	6,052	9,797	13,958	16,833	
	旅費		29	22	71	71	
	需用費(印刷製本費)				100	100	
	役務費(建物損害保険料)			28	22	22	
	バイオマス指定管理料		4,506	8,200	9,700	12,700	
	土地借上料		1,440	1,440	2,940	2,940	
	バイオマス利用助成金		77	107	1,125	1,000	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他		300	300	2,940	2,940	
	一般財源[A]	0	5,752	9,497	11,018	13,893	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
事業量1(事業に要した日数)							
事業量2(事業に要した人数)							
年間経費([A]+[B])	0	5,752	9,497	11,018	13,893		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	0.0	1,438.0	2,374.3	2,754.5	3,473.3		
経費に関する 補足説明	平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
達成度	目標達成度	%	44.3	14.4	34.1	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 玉葱残渣の搬出量は目標に達していないが、本格稼働後増加してきており、不適切処理は日常生活上は見かけることは少なくなった。しかし山間部においては事案が発生している。						自己評価 (5点評価)
							3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 住民の不適切処理に関しては意識は向上しており、玉葱産地としては必要な施設である。						自己評価 (5点評価)
		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
効率性	事業単価	円	0.0	1,438.0	2,374.3	2,754.5	3,473.3
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 残渣受入れに、t当り15,000円を徴収しているが、修繕費が不足する。						自己評価 (5点評価)
							4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 環境問題や産地としてニーズがあり、バイオマス施設としては市事業が妥当。(変換後の炭化物でも一部の農業者においては病原菌を心配するので、堆肥化は農業者の理解が得られない)						自己評価 (5点評価)
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析						
	安定した稼働により、稼働経費の削減は可能。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	現状維持としているが、関係団体や関係農業者に利用促進を図り、稼働率を高めるよう管理組合に対し働きかけていく。	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 施設が停止した場合、国・県の補助金返還が発生する。	